

— 私たちのミッション —

一人ひとりの子ども達が尊い素晴らしい可能性を持っています。しかしその子ども達が自分に尊厳を感じられなくなっています。私たちJワールドは、自分を喜び、将来を喜び、素晴らしい日本の未来を切り開く子どもたちの健全な成長を願っています。その為に、乳幼児期から思春期までの子どもが安心して成長できる健全で明るい環境や居場所づくりを通しての子育て支援、街づくりを行いながら、「あなたは高価で尊い(たっとい)宝物!」というメッセージを子ども達に届けています。

- ・子育て事業 … こひつじリトミック、子育てセミナー、おやこ DE 広場旭町 (松戸市委託事業)
- ・子どものボランティア事業 … J☆キッズ
- ・ユース事業 … GET YOUR DREAM!!、ユーススペース、中学生学習支援事業 (松戸市委託事業)

※Jワールドの「J」はJoy (喜び)、Japan (日本) に由来します。

おやこ DE 広場旭町

おやこ DE 広場旭町は、松戸市シニア交流センターの3階にあるので、シルバー世代との交流があり、また、近くにある旭町中学校ともつながりのある、異年齢交流の機会に恵まれた広場です。2016年7～9月に広場で行われたイベント等をご紹介します。

■ミニ夏まつり■

ミニ夏まつりは、松戸市の老人会「はつらつくらぶ」の方々にお手伝いいただきました。参加親子は、輪投げやペットボトルボーリング、魚釣りなどのブースを自由に回ってスタンプラリーを楽しんでおられました。



何が釣れるかな～？

■ゴーヤの収穫■

広場のあるシニア交流センターの1階では、毎夏、ゴーヤの緑のカーテンを作っています。松戸市高齢者支援課主催で昨年からはまったこのイベントは、ゴーヤを直接収穫できるので、親子からは貴重な体験ができたという好評でした。

■敬老感謝会■

9月には敬老の日に合わせて、イベント等でお世話になっている「はつらつクラブ」、「シルバー人材センター」の方々をお迎えして、日頃の感謝を表す会を催

しました。小さなお子さんとハイタッチしたり、若いママさんとお話ししたり…。親子からは手作りカードがプレゼントされ、シルバー世代の方々も終始笑顔で過ごされていました。

■夏休みボランティア■

今年で5年目となる旭町中学生の夏休みボランティアでは、11日間で59人の生徒さんが広場に来られました。生徒さんからは「最初は緊張したけど段々慣れてきて、最後には楽しく遊べた。」「短い時間だったから楽しかったけど、長い時間これをするのは大変だと思った。」「見ていた子が初めて笑ってくれたこと、最後まで手を振ってくれたこと、ハイタッチしてくれたことなど、一つ一つがすごく心に残った。」等の感想があり、いろいろ考えられたようでした。ママさんからも「子どもと一緒に遊んでもらえて良かった。」「中学生と話す機会はないので新鮮だった。」等の感想が聴かれ、双方にとって良い時間を過ごせたのではないかと思います。



一緒に遊ぶの楽しいね！

学習支援事業『勉強スペース』

「ただいま～!」夕方になると学習支援事業『勉

強スペース』に一日平均 10 数名の中学生が集まっています。現在登録者数は、小学生 8 名中学生 56 名程になりました。

夏休みのかき氷やスイカ割りのイベントでは、チームに分かれて、どうやったらスイカが早く割れるか、協力したり応援したり。いつもの勉強している様子と違う、くつろいだ表情が見られました。

夏以降、特に 3 年生の申し込みが増え、受験モードに突入しています。最近、過酷な環境におかれている中学生に対して、J ワールドならではの関わりを感じられた出来事がありました。

足し算引き算が出来ない受験生の A くん。一日 6 時間オンライン動画を観ていると聞き、勉強スペースの指導員が「それだと勉強したことが抜けちゃうよ」と彼のために真剣に伝えました。彼は自ら観ないことを選び、その途端に学力が上がってきました。

また、一日 6 時間オンライン動画を観ている他の女の子にも伝えたところ、彼女も観るのを止めることを選びました。すると、いくら頑張っても覚えられなかったのに、観なくなってすぐの英単語のテストは、なんと満点でした。

害があるものは何なのかを愛をもって親身に動機づけし、根気強く伝え続けた結果、彼らは自分で良い方を選んでいきました。自分で選んだことに対する良い結果を体験した子どもたちは、そう簡単に元には戻らないのではないのでしょうか。そんな姿が、私たちの励みにもなりました。

中高生 里山草刈り応援隊

中高生による里山草刈りボランティアが、7 月 26 日～28 日千葉県市原市にて行われました。今回は女性でも扱える鎌や小型ノコギリを使い、地元の方に教えを受けながら、男女の中高生が川辺や古道に飛び出す木々の整備や草刈りを行いました。

暑さの中、汗を流して、根気強く刈り取り続けることで道が整っていくのを目にし、達成感を味わう中高生たち。作業の合間には、ザリガニ釣りや木の枝にぶら下がってのターザンごっこで、自然の中、おもいっきり遊びました。また夜には、地元の方の手作りそばやイノシシ肉など普段味わえないご馳走のおもてなしを受け、世代をこえた温かい交流の時がありました。

『体を使って根気強くやり続けること』

『誰かのためにはたらくこと』

今の中高生は、少し前なら当たり前だった大切な

ことが身につけられない環境におかれています。エアコンもなく決して楽ではない環境でしたが、きっと、得たものは大きかったのではないのでしょうか。



徐々に道が整っていきました

小学生ボランティアサークル

J ☆キッズ里山

J ☆キッズの里山合宿が 7 月 22 日～23 日千葉県香取市で行われ、地元香取市の小学校からは 24 人、J ☆キッズからは小学生 9 人、またサポート役の中高生・ユース 14 人が参加しました。

今年は食紅を使った色水のかけ合いでもとても盛り上がりしました。夜のバーベキュー、早朝のカブトムシ採りもあり、地元の小学生と自然体験を通した世代間交流ができる機会となりました。

J ☆キッズのテーマである『自分で考え自分でやる力』も発揮し、みんなで協力し過ごした二日間。地元の 6 年生からは「中学生になってもスタッフで参加したい」と、うれしい感想がありました。



思いっきりかけ合うぞー！

J ワールドの活動は……

☆ 子どもの環境を守る会 J ワールドは平成 28 年度松戸市の委託事業として

- 松戸市子どもの学習支援事業業務委託
(中学生週 4 日・小学校高学年月 2 回)
 - 松戸市地域子育て支援拠点事業業務委託
 - 松戸市中高生支援業務委託 (ゲットユアドリーム事業)
- の指定を受けています。

☆ 子どもの環境を守る会 J ワールドは松戸市市民活動「子どもの健全育成」登録団体(No.65)です。